



政治のホンマを伝えるチラシ

# レオナンデス通信

www.nakanishireo.com/ 平成26年4月～6月号 発行:中西レオ応援団

## 「子供が核」なら学力でしょ 学校司書1600万円→0円

お金が無いと言いながら、再開発、中学校給食、医療費無料化など大型事業目白押し。切られているのは高齢者福祉に加え、子供の教育予算でした。

### 効果があった学校司書

明石市の小中学校には専任の司書教諭は配置されていませんが、平成21年度からブックサポーターと呼ばれる臨時の職員が全小中学校に配置されています。配置されている期間は、学校図書室の利用が1・4倍以上になり、学力の基礎を身に付ける取り組みとして高い効果がありました。

### 身銭を切る気がない

ところが、これは国の緊急雇用創出事業が財源だったので、それが切れた26年度は予算額ゼロになりました。

市長も担当部署も「本大事です」(24年本会議市長答弁)や「本事業を継続していきたい」(25年度事務事業点検シート)と述べていたのにも関わらず、まったくのゼロです。

### 学力向上は善意頼り

学力向上のための新規事業は、「わくわく算数教室」などを小中学校のいくつかで開催し、講師には教員OBのボランティアを充てる、などと善意に頼ったわずかな取り組みです。

## 学力向上事業たったの180万円

### 子供をダシに人気取り

明石市長は「子供を核としたまちづくり」を掲げています。それならば、学力向上と学習環境改善に予算を費やすべきです。ところが、無責任な政治家は、子供に給を与え、本を奪います。給とは、財源もないのに医療費をタダにし、すでに市内の子供は無料なのに天文学館等を無料にしたことです。

無料のサービス合戦は、どの市でも真似ができるので強みになりません。

神戸市は26年度予算で小学校20校、中学校10校をモデルに専



任学校司書を配置するそうです。26年度からゼロになった明石市とは逆ですね。  
中西レオは、ブックサポーターの再配置や、学習環境の改善、教員が授業の準備に向き合う時間の確保など、本当の意味で子供を核とした明石にするために取り組んでまいります。

昨年12月に出された請願「幼保一体化モデル事業の試行に関する請願」が反対多数で否決されました。(裏面下段に経緯を書いています)松が丘幼稚園と松が丘保育所、二見幼稚園と二見保育所(いずれも明石市立)について一体化の試行案が示されましたが、検討・協議から実施まであまりに短く、他の新規事業(幼稚園の預かり保育、3歳児受け入れ)と同時では心配も多いことから、26年度実施を見送り、課題検討に十分な期間と意見交換の機会を求める内容です。

## 議会の常識

反対とは言わないけど反対

### 賛成

中西、木下、新田  
永井、遠藤、北川  
楠本、辻本、西川  
大西、千住

### 反対

絹川、国出、梅田  
松井、佐々木、尾倉  
深山、穂原、三好  
寺井、辰巳、井藤  
出雲、坂口、樽谷  
尾仲、富田、宮坂

明石市議会議員

# 中西レオの活動報告